

# カーボンニュートラル（以下CN） 取組み状況

## 1. アンケート集計結果

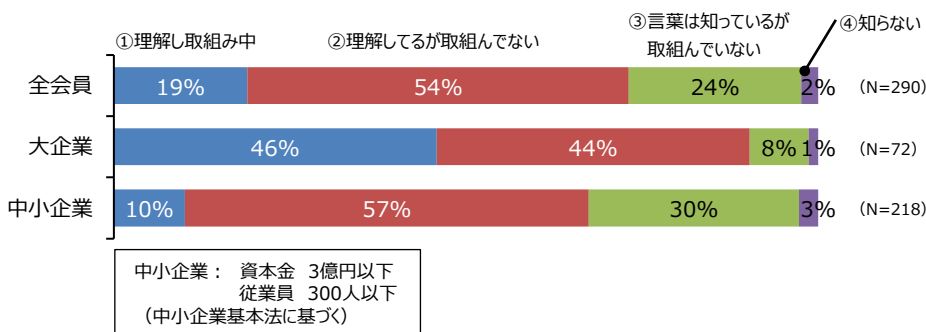
会員の皆様にご協力頂きましたCNに関するアンケート結果につきまして皆様と共有させていただきます。「パンフレットその2」では、全会員の状況を報告いたしましたが、今回は、大企業、中小企業毎に分類し、自社の状況とともに同規模の会員様の状況につきましても確認頂けるようにいたしました。

また、アンケート結果につきましては、現在取り組んでおります、会員様を対象とした勉強会内容の参考とさせて頂いております。今後も会員の皆様が発炭素化の動きに適切に対応していただくため、会員の皆様と『手をつないで進めていきたい』との考えに基づき、取り組んでまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします

### 1) CNについての理解、意識について

#### 【CN理解度】

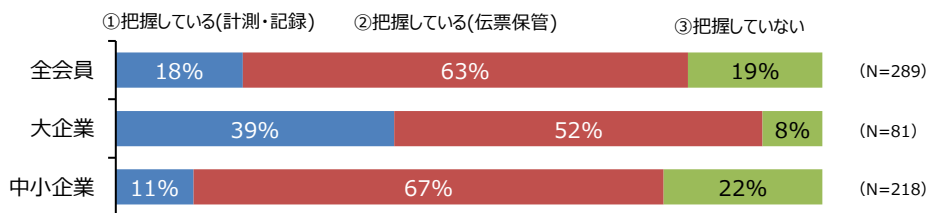
Q1 カーボンニュートラルについて知っていますか



CNに取組む必要性など、基本的な情報の提供が必要

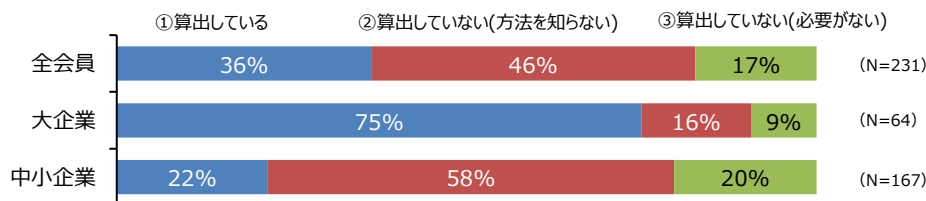
### 2) 主な項目について（生産領域）

Q2 自社の企業活動で使用する、電気等のエネルギー使用量を把握し、記録をしていますか？



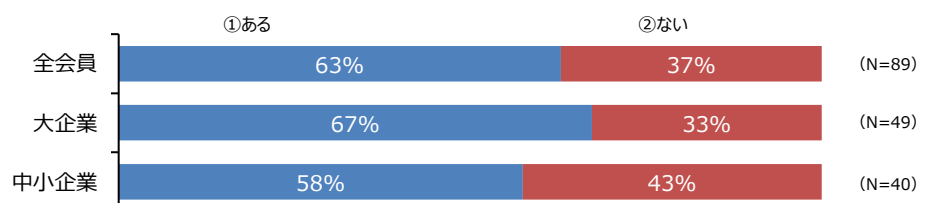
エネルギー使用量の把握はCN取組みの基本であり、料金同様に関心をもって管理することが大切

Q4 把握しているエネルギー使用量から、CO2排出量を算出していますか？



簡易ツールで算出することで、自社のCO2排出量を知り、CNを身近に感じることが必要

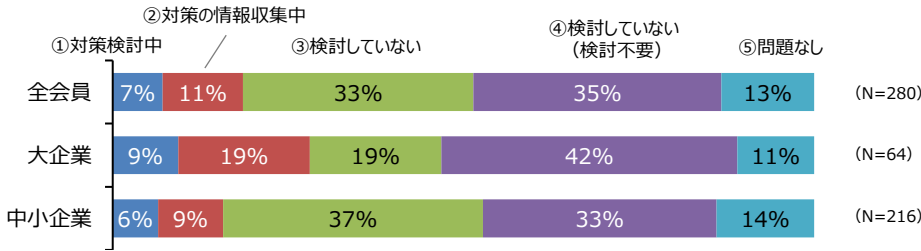
Q6 (CO2排出量を把握している会社のうち) CO2低減目標はありますか？



CN目標設定の理解や支援活動が必要で、車工会としての方針の検討と展開に取り組む

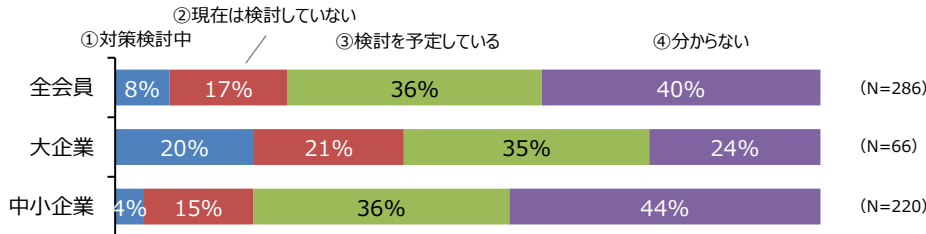
### 3) 主な項目について (製品領域)

Q1 トラックシャシ電動化に伴う架装用動力の問題について対策は検討されていますか？

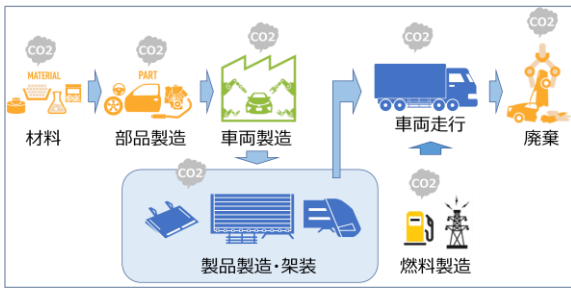


架装物動力源検討WGを軸に、電動化対応の検討及び情報発信を行い、個社の取組みに活用いただく

Q2 自社が調達する材料、部品、副資材等について、CO2を確認、管理することを検討されていますか？



※LCAでのCN取組みを理解し、進め方の事例等を共有



引用：「資源エネルギー庁説明資料（自工会）」

※LCA (Life Cycle Assessment) : ライフサイクルアセスメント  
 ある製品・サービスのライフサイクル全体  
 <資源採取→原料生産→製品生産・架装→流通・消費→廃棄・リサイクル>  
 または、その特定段階における環境負荷（例えばCO2排出量）を定量的に評価する手法で、CNはLCAで取り組んでいくことが重要です。

## 2. 車工会の取組み

➤ 「CN専門委員会」での論議、進捗確認を行い、計画に基づき推進しています。自動車※5団体活動との連携では、さらに政策要望についても論議、検討し、提案していく計画です。

Step	取組み	内容	状況
0	現状調査	・会員様のCNに対する意識、課題の把握 → アンケート実施、完了 CN対応状況や課題の洗い出し、進め方整理	・100%回答頂き分析完了
1	理解活動	・パンフレット作成、展開、車体NEWS掲載 ・勉強会、説明会、講演会 実施 ・各種情報提供 (含む5団体活動)	・パンフレット1～3会員展開済、車体NEWS秋号に掲載済 ・10/26第1回勉強会実施済、第2回12/2、第3回12/20計画
2	現状把握	・現状での個社CO2排出量算出ツール提供 ・会員各社状況把握と対策検討、実施	・CO2排出量算出ツール【簡易版】8/31展開済
3 以降	目標設定と対応策検討	・個社目標値設定に向けた取組み ・対策支援活動検討、推進 ・対策状況の見える化 (対策状況把握ツール)	・個社目標設定に向け、車工会目標検討中 → 自動車5団体活動と連携し設定

※ 5団体：日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車販売協会連合会

➤ 引き続き、本部委員会、各部会、各支部と連携し、「CN対応の取組み」における、電動車（技術）、生産領域への対応と「中小会員支援策」に会員の皆様と『手をつないで』進めてまいります。

➤ 本パンフレットも参考にいただき、お問い合わせはもちろん、困り事がございましたら、事務局までご連絡くださるようよろしくお願いいたします。

